



同窓会 たいり



会員各位のご協力を

恵那南高校 同窓会長 勝 正憲

この度、同窓会長の大役を務めさせていただきますことになりました。微力ではありますが取り組んでいるところであります。

平成18年12月に岩村高等学校と、明智商業高等学校から統合に向けての役員を選出し、翌年1月から毎月、延べ十数回の統合推進委員会を開催しました。想定されます様々な課題を協議しまして、無事に発会式を迎えることができました。ひとえに、統合推進委員会の役員様をはじめ、校長先生、並びに先生方、又事務局の方々の大変なご尽力の結果と感謝しております。

現在、同窓会員の総数は岩村と明智の卒業生を合わせて、約一万八千人となりました。大きな会員数ですが、これから同窓会員相互としての結び付きを、どのように図っていくのがよいか検討しているところであり、同窓会は先輩、後輩と年代層の厚い多くの卒業生の交流の場でもあります。今までも、各所に同窓会が盛況に活動されている事ではありますが、今後、総会等いろいろな

ご提案をいただければと考えています。同窓会の運営は皆様の年会費の資金で成り立っています。この会報発行や生徒への報奨金等を実施していますが、資金運営についても厳しいのが現状です。これからも、今までと同様、恵那南高等学校同窓会の発展のため、温かい会員の皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

るなご提言をいただければと考えています。同窓会の運営は皆様の年会費の資金で成り立っています。この会報発行や生徒への報奨金等を実施していますが、資金運営についても厳しいのが現状です。これからも、今までと同様、恵那南高等学校同窓会の発展のため、温かい会員の皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

恵那南高校は新しく総合学科となり、進学を目指す人、また就職や専門学校を目指す人達も学べる高校となりました。そのため特別教室を完備した四階建てのすばらしい新校舎が、平成20年3月増築となりました。

新校舎を前にするとき、我々の時代のあの木造校舎が懐かしく思い出されてなりません。時代の流れを感じるのと同窓生の皆様も同じと思えますが、こつこつすばらしい環境で、勉強ができるのはなんと生徒は幸せな事かと思っております。今後とも勉学と部活動に励んで卒業し、社会に出

て大きく活躍してほしいと思っております。会員の方々は、それぞれの地で活躍してみえますが、その方々が築かれた業績は地元に住む我々にとっても、大きな励みになっており誇りでもあります。恵那南高校の発展は、

発行
恵那南高等学校同窓会
明智校舎
〒509-7793
恵那市明智町41-2
TEL (0573) 54-2537
FAX (0573) 54-2537
岩村校舎
〒509-7403
恵那市岩村町133-3
TEL (0573) 43-2100
FAX (0573) 43-2527
印刷・デザイン
株式会社サラト
http://www.salat.co.jp/

新しい恵那南 高校の校風



恵那南高校 校長 橋本義治

同窓会だより第一号の発刊おめでとうございます。また、同窓会の皆様には、日頃本校教育の充実・発展のために温かいご支援をいただき誠に有り難うございます。私もこの4月に着任し、8月には第一回同窓会総会に出席させていただきました。いただきましたが、卒業生の皆様の母校に対する熱い思いと大きな期待を聴く度に、喜びと同時に大変重いのを感じました。生徒・職員一同力をあわせて、両校舎の「温故知新」「百鍊成鉄」の精神を貫くべく努力していきます。

恵那南地域住民の期待を大きく担っており、そのためにも同窓会等の支援、協力が不可欠と思えます。会員の皆様のご協力の基に、恵那南高等学校会などに参加しています。そして両校舎の生徒たちが一つになってつくりあげた、最初の最後の学校祭「第一回佐草翔祭」が9月に行われ、今年度閉校舎を迎える岩村校舎3年の優秀賞演劇「ターゲット」などが新聞でも報道されました。このような成績や活躍は、生徒や指導された先生方の頑張りもありますが、それを育む環境、すなわち本校のよき伝統を築いていただいた先輩諸氏のお力や、同窓会の皆さんが側面から活動をサポートしていただいているからだと思っております。

部活動は、両校舎の生徒により構成されている4つを含め、19の部があります。今年度は陸上部が砲丸・走り幅跳び・競歩で、女子弓道部が団体で東海大会に出場するなど素晴らしい結果を出しています。また、スケート部は昨年同様、インターハイ・国体への出場が期待されていますし、その他の部も地区・県大会での活躍や地域行事での演奏

ここに紹介させていただいたのは、生徒の活躍の一部にすぎません。全ての生徒に、今後も「心豊かにたくましく生きる」ことを訴え、励まして行きたいと考えています。皆様方には、今後ともご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

会費納入のお願い

平素は本会の活動にご支援いただきありがとうございます。

さて、同窓会活動を支える経費は、入会金と会員の皆様からの会費を財源としております。しかしながら、生徒減少にともなう入会金の減少をはじめとし、収入は不足しております。逆に、この会報発行だけでも二百万円を要し、非常に厳しい財政状態となっております。

同封の振込用紙を利用していただき、ぜひ二千円の年会費を納入していただきますようお願いいたします。

恵那南地域住民の期待を大きく担っており、そのためにも同窓会等の支援、協力が不可欠と思えます。会員の皆様のご協力の基に、恵那南高等学校会などに参加しています。そして両校舎の生徒たちが一つになってつくりあげた、最初の最後の学校祭「第一回佐草翔祭」が9月に行われ、今年度閉校舎を迎える岩村校舎3年の優秀賞演劇「ターゲット」などが新聞でも報道されました。このような成績や活躍は、生徒や指導された先生方の頑張りもありますが、それを育む環境、すなわち本校のよき伝統を築いていただいた先輩諸氏のお力や、同窓会の皆さんが側面から活動をサポートしていただいているからだと思っております。

明智商業高校と岩村高校の統合に伴い、両校の同窓会もこの度、統合するはこびとなりました。

統合に向けては、両校の同窓会役員の方々の共通理解を図る必要がありました。このため両校の同窓会役員の方々が一堂に会し協議する機会が必要となりましたので、岩村高校の立場からですが、これまでを振り返り、統合の経緯の概要について述べたいと思います。

まず、学校統合によって、同窓会を運営する上でどういった問題が生じるのかを整理しました。

- ①平成19年度卒業生（恵那南高校一回生）の同窓会への受け入れ体制をどのようにするのか。
- ②岩村高校同窓会事務局をどこに置くのか。（同窓会会計の取り扱いや卒業生名簿の管理の在り方）
- ③岩村高校同窓会に関する過去の資料等の管理をどのようにおこなうのか。
- ④閉校後の同窓会館（知新會館）の継続使用について

これらの問題に対処するために、これまでに学校統合した学校の同窓会の運営の在り方や一本化することのメリット・デメリット等をまとめた後、平成18年12月14日明智商業高校同窓会との合同の役員会を開催しました。この会議では、学校統合に伴う双方の同窓会の運営上の問題点について協議し、平成19年度卒業生（恵那南高校一回

生）を受け入れる体制を同窓会として整えること、事務局を学校以外に設置することは困難であることなどの意見が出されました。懸案事項を多面的に協議した結果、「同窓会を一本化する方向で諸問題を解決していこうではないか」という共通認識を得ました。最終的には、平成19年度は、各校舎に同窓会事務局を置くこと。平成19



学校統合と 同窓会

恵那南高校岩村校舎
副校長 鈴木康博

年度「同窓会統合推進委員会」を設置し、同窓会統合に向けて協議を進め、平成20年2月までに「恵那南高校同窓会」を立ち上げるこ

まず、同窓会会則の策定から協議に入り、新役員を選出、同窓会入会金や年会費の決定、同窓会名簿の管理の在り方等一つ一つの案件を慎重審議しました。平成20年2月20日には、「恵那南高校同窓会発足式並びに設立総会」が明智校舎で開催され、正式に恵那南高校同窓会が設立されるはこびとなりました。

岩村高校同窓会館（知新會館）については、西久保同窓会長さんが県教育委員会へ「継続使用の要望書」を各支部長連名で提出されるなど、同窓会の皆様方のご支援があり、平成20年3月17日県教育委員会から「同窓会館（知新會館）及び弓道場とその付属施設については引き続き恵那南高校の管理とする」との通知をいただきました。このことから、平成22年度以降も、これまで通り活用できることとなりました。今後学習活動や部活動などに有効活用させていただきたいと思っております。

二つの同窓会の統合によって創設された恵那南高校同窓会は、80年と60年の教育の歴史と伝統をそれぞれ有する岩村高校と明智商業高校を母体とする会員約一万八千人の同窓会へと大きく発展しました。恵那南高校同窓会の設立を機に、恵南唯一の総合学科をもつ恵那南高校が、地域の教育と文化の拠点として、ますます飛躍発展していくことを期待します。

恵那南高校創設のあゆみ

平成19年4月8日、「恵那南高等学校」が誕生しました。統合前は実に多くの課題を抱えていました。両校の歴史ある伝統の継承、生徒数の減少、学校の活性化、総合学科設立など、一つずつ解決しなければなりませんでした。

平成17年4月には、両校に新高校創設のための各種組織を立ち上げました。また、両校の学校評議員と地元中学校長、地域代表、両校同窓会長とPTA会長など38名からなる「新高校創設協議会」からは広く意見を求めました。校名は1,255件の応募をもとに、教育委員会において決定されました。

まず地元中学校を始めとする、約1,600名にアンケートを実施し、総合学科の内容として何が適しているのかを調査しました。そして5系列を持つ総合学科とすることを決定しました。進学を目指す「文系進学系列」と「理系進学系列」、資格を取得し就職を目指す「ビジネス系列」と「情報系列」。「福祉保育系列」は福祉や保育に関する技術を身につけ就職や進学を目指します。また、基礎学力を身につけるための習熟度別授業や、学習をサポートする朝補習や長期休暇補習を実施し、生徒にあった学習をおこなっています。

本校は地域に生きる学校であり、地元中学生の第一の進学先として存



完成した総合学科棟

在しなければなりません。平成18年は新しい制服やスローガン「わたしは南の開拓者」をかかげ、第1期生の募集に奔走しました。明智校舎に垂れ幕を下げ、学校の周辺にのぼりも立て、地域の商店にはポスターを貼っていただきました。8月には総合学科棟の実設計を行い、各部屋毎の細かな打ち合わせを行いました。12月には公募により校章が決まりました。校旗の制作に入りました。両校の思いを取り入れた斬新な校章ができました。

そして平成19年4月8日、新高校「恵那南高等学校」がスタートしました。平成20年度には第2期の生徒も135名入学し、総合学科棟の工事も終了しました。

同窓会が一つになった今、諸先輩方におかれましては、「恵那南高校」を温かく見守っていただき、今後もご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。（丸谷）

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

私は、明智商業高校の同窓会の会長を勤めさせていただきまし



明智商業高校同窓会長 小松 房行

両校の統合を

お互いのプラスに

小松と申します。私の会長の役目は、岩村高等学校との統合推進委員長ということで、期間は2年半くらいではありましたが、中身は非常に濃いものであり大変苦勞も

し、また人生勉強もさせていただきました。両校のそれぞれの役員の皆さん、そして校長先生始め、諸先生方のご指導ご援助をいただき、新しく恵那南高等学校の同窓

南高等学校同窓会の第一回の総会が、滞りなく執り行われました。総会には、私も出席させていただきました。懇親会へも参加させていただきました。

きたことは、県の施策なのか統合せざるを得ない環境であり、統合に関する支障はあつたけれども、統合したそのお陰と感謝していただきます。

特に、岩村高等学校同窓会で設置されておられる関東支部(現在、関東地区の明智商業卒業生の方々にも、紹介を検討しており、将来必要あれば、恵那南高等学校関東支部にしたいと考えています)の、森屋正治君(初対面)が当日の朝、東京を出発して出席しておられ、

これからは、お互いに明智商業高校出身、岩村高校の出身ということだけでなく、地元である恵那南高等学校同窓会員として、会を発展していったらどうかよう会員の皆様には、ご支援・ご協力賜りたく

私自身も今後は相談役として会長に協力し、新同窓会に尽力していく所存ですので、よろしくお願ひいたします。

同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会も、卒業生の受け入れ等の一本化に向けて、統合推進委員会を設置し、会議を重ねていく中で合意に達し、本年2月20日に、「同窓会発会式ならびに設立総会」が

ろです。今後は、恵那南高校卒業生が主体となり自立できるまで、両校の同窓生が支援協力しなければと思っております。

だきたいと思ひます。現在恵那南高校岩村校舎には3年生一学年しかも30数名のみの生徒しかおらず、部活動・行事等には困難を伴っていますが、一方、少人数ならではの教育が行われており、生徒は笑顔絶やすることなく元気で頑張っています。こうした姿に接し、私自身もたいへんうれしく思っています。

新生恵那南高

同窓会

岩村高校同窓会長 西久保成樹



会に飛び立っていきました。

そして4月には岩村高等学校と明智商業高等学校とが統合し、両

開催され、新体制のもとで岐阜県立恵那南高等学校同窓会が誕生いたしました。

南高等学校が発足しました。

第一回生の受け入れを一本化する

と多方面でおおいに活用していた

正面跡地にある「温故花梨」「知新

「翼」の校章

校章のデザインは、全体として、羽ばたく「2つの翼」を「ささゆり」

が結び、恵那南高校のイニシャルである「EM」を抱えています。そして、これらはすべてスクールカラーの「紺色」で彩られています。1つの「翼」は3枚の羽で構成され、生徒が未来に向けて成長する姿と大きく飛翔する力強さを表しています。また、「2つの翼」

は統合した岩村高等学校と明智商業高等学校を表し、恵那市を象徴した可憐な「ささゆり」でしっかりと結びつけられています。これは地域と学校が強く結びつき、これからの「恵那南高等学校(EM)」を支えていくことを意味します。

デザインは、現中津商高教諭、監修は長谷川満氏(本校芸術科教諭)です。校章は、平成18年9月・11月に募集、12月に決定しました。募集対象は本校の関係者、中学校関係者、同窓会役員ならびにホーム

ページによる公募で、応募総数約80件の中から校章選定委員会

定をしました。



定をしました。

Topics

岩村校舎のトピックス

ご存じのとおり、80年という長い歴史と伝統を誇る岩村高等学校が平成19年3月で暮を閉じ、同年4月からは恵那南高等学校岩村校舎として教育活動を続けてきましたが、いよいよ平成21年3月閉校舎を迎えることとなりました。校舎を閉じるということは淋しい限りですが、在籍する生徒が岩村校舎で卒業できてよかったという思いをもてるように、手厚い支援体制のもとで教育活動を続けています。現在は、生徒30名、教員10名が岩村校舎にいます。

さて、閉校舎となる今年度は、特色ある学校づくりの一環として「少人数であることの良さを活かした地域に開かれた活力ある学校づくり」を推進しています。具体的には、①岩村校舎独自の少人数教育の充実（多彩な選択科目の設定と習熟度別授業の実施）②保護者・地域との連携を図り、参加型の学校行事の推進③保護者との連携を密にしたPTA活動の推進④「平成知新塾」の開講⑤岩村高校や岩村町の歴史に理解を深めることで、岩村校舎で学ぶことに誇りをもたせるなど、生徒を基軸とした学習活動の場を保証すること、活力ある学校づくりを進めて



少人数教育の充実（進路学習）

います。

おかげさまで、各教科の学習活動はもちろんのこと、部活動や学校行事など、生徒30名は生き生きとした学校生活を送っています。これは、同窓会をはじめとする皆様方のご支援の賜であり、心からお礼申し上げます。

今後とも全教員が30人の生徒の担任であるという意識を持って、少人数であればこそできる教育活動に取り組み、来年3月の閉校舎に向けて有終の美を飾りたいと願っています。

「平成知新塾」開講

岩村校舎では、岩村の文化・歴史や人材などの教育資源を活用

し、実技体験・講話など多彩な学習活動を生徒に提供しています。それらの活動を、岩村藩藩校「知新館」にちなんで、「平成知新塾」と命名し、平成15年度から、地域の方々に講師をお願いして様々な体験活動を実施してきました。

今年度は、フィールドワークを取り入れた「生き方・在り方講座」や開かれた学校づくりの一環として、一般の方々も参加した「基礎学力を充実させるための講座」など、工夫を凝らした学習活動に挑戦しています。その一端を紹介いたします。

★佐藤一斎について学習

そして 自己啓発
 〔期日〕6月2日(月)・9日(月)
 16日(月)

〔講師〕鈴木 隆一氏(NPO法人「いわむら一斎塾」副理事長)



佐藤一斎についての学習（岩村町内フィールドワーク）

学校設定科目「地域研究」の学習活動として、「いわむらが生ん

だ偉人」の一人である佐藤一斎について学びました。岩村の町並みにある佐藤一斎の名言を探しながら地図に記入したり、佐藤一斎が語る名言の意味をかみしめ、自らのこれからの生活について考えました。

★漢字のなりたち 再発見

考える力の伸長と生きていく基礎（読む・書く）・「話す」・「聞く」としての国語力を育成するうえで、最も基本である漢字のなりたちや熟語について再認識することにより、適切に表現する能力を養うことを講座の目的として「平成知新塾」を開講しました。

講師は岐阜女子大学近藤正則教授で、生徒30名、一般来校者11名が参加しました。

伝統を語り継ごう

★岩村町「知新館」弓道大会

8月23日、岩村校舎、岩村高等学校同窓会、岩村町弓道連盟のほか、本年度はいわむら城址新能実行委員会が主催となり、第5回岩村町「知新館」弓道大会が開催されました。会場は藩校「知新館」跡地に建つ「知新館弓道場」で、恵那市内の弓道愛好家と恵那市内の高等学校弓道部員の計53名が参加して、日頃の弓道の修練の成果を発表しました。

当日は、西久保岩村高等学校同窓会長から開会の挨拶をいただ

き、来賓として恵那市教育委員会山内規正スポーツ課長をお招きするなど盛大かつ厳粛な雰囲気なかで大会が運営されました。

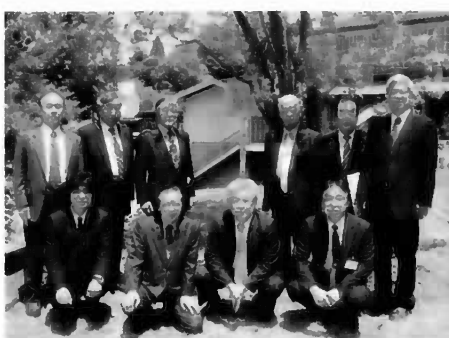
★知新會館について

知新會館は恵那南高等学校の管理下におくということが、平成20年3月に岐阜県教育委員会により決定されました。今後も学習活動、部活動などに有効活用させていただきます。また、同窓会の皆様方にも同窓会の会合などにおいて積極的にご活用ください。

★「温故花梨」と「知新紅梅」の由来を記した新たな立て札の披露

昭和61年度に岩村高等学校環境整備事業として、移植された「花梨」と「紅梅」は、元岩村高等学校校長水野恭平氏によって、岩村高等学校の校訓「温故知新」にちなんで、「温故花梨」「知新紅梅」と命名されました。

それぞれの由来を記した「立



「立て札」の除幕



岩村校舎の発表「演劇」

昨年度から新たに月例学校行事を企画しました。今年度は、第1回として4月に瑞浪市にあるサイ

**活力ある学校
月例学校行事で
パワー 全開!**

て札」が老朽化していましたので、今年度、岩村高等学校同窓会の支援を得て、新たに「立て札」を作り直し、5月21日に、その「立て札」を設置しました。当日は同窓会役員の方々にも参列していただき、二つの名木の由来の説明を聴いた後、除幕を行いました。

平成19年度 卒業生の進路

平成20年3月31日現在 岩村校舎

1.就職先

会社名	男	女
金融		
東美濃農業協同組合		1
製造		
明知ガイシ(株)	1	
明智セラミックス(株)	1	
恵那東海理化(株)	1	
協和ダンボール(株)	1	
サソリカ		1
テイネン工業(株)	1	
トヨタ自動車(株)	1	
パロマ工業(株)	1	
本多金属工業(株)	1	
美濃工業(株)	1	
山本製作所	1	
卸小売		
山本プロパン瓦斯(株)	1	
義津屋(ヨシツヤ)		1
運輸		
佐川急便(株)	1	
東海旅客鉄道(株)(JR東海)	1	
サービス		
オリックス・ゴルフ・マネジメント(株)	1	
トヨタ生活協同組合	1	
計	12	6

2.進学先

学校名	男	女
四年制大学		
愛知工科大学	1	
桜花学園大学		1
岡山理科大学	1	
就実大学	1	
中京学院大学	1	
花園大学	1	
名城大学	1	
短期大学		
中京短期大学		1
中日本自動車短期大学	1	
専門学校		
岐阜県立国際園芸アカデミー	1	
中部リハビリテーション専門学校		1
辻調理師専門学校	1	
名古屋情報メディア専門学校	1	
名古屋製菓専門学校		1
名古屋ビューティーアート専門学校		1
名古屋リゾート&スポーツ専門学校		1
岐阜県立下呂看護専門学校		1
JA愛知厚生連加茂看護専門学校		1
JA愛知厚生連看護専門学校		1
計	10	9

エンスワールドと多治見市にあるセラミックパークへ出掛けて体験的な学習をしてきました。また、第2回は5月に名古屋港水族館へ出掛け、海洋生物に関する知識や見聞を広めることができました。第3回は、9月に開催された明智校舎と合同の文化祭(佐草翔祭)で、夏休み中から登校し、一生懸命準備しました。

来春閉校舎
三月一日(日)は
ぜひご来校を!

平成21年3月、恵那南高等学校岩村校舎を閉じるにあたり、最後の卒業生30名を送り出す卒業証書授与式を3月1日(日)に挙行します。当日は卒業証書授与式と併せて、恵那南高等学校岩村校舎の閉校舎式も挙行します。岩村校舎には在校生がいません。

ので、同窓会員の皆様におかれましては、ぜひとも、卒業証書授与式並びに閉校舎式にご出席いただき、最後の卒業生30名を温かく送り出していただきますようお願い申し上げます。なお、日時等は次のとおりです。

〔期日〕平成二十一年三月一日(日)
〔会場〕恵那南高等学校岩村校舎 体育館2階アリーナ
〔卒業証書授与式〕午後一時～
〔閉校舎式〕午後二時～

(3頁より続く)
紅梅」の二本の名木に、80年間見守ってくれた感謝の意と、今後とも末永く見守っていたきたいとの願いをこめ、それぞれの由来を記した新しい立て札の除幕式をおこないました。

今年度末には閉校舎式を行うことを計画しています。まさしく最後の在校生にとって思い出となる式となるよう検討していきますので、その節にはご協力をお願いいたします。

私事ですが、平成12年度に同窓会長という大役を拝命し、今日までひたすら一生懸命に頑張ってきました。学校存続の願いはかないませんでした。平成22年度から岩村校舎は県立恵那特別支援学校として生まれ変わります。同窓会館の継続使用も認められ、まずはホッとしているところです。

思い返してみれば、いろいろなことが頭を駆けめぐりますが、皆様方の暖かく心強いご支援ご協力に対し、心より厚くお礼申し上げます。

新体制の中では相談役として微力ではありますがお役に立てるよう頑張っていく所存です。恵那南高等学校ならびに同窓会のご多幸とご健勝を祈念いたしまして挨拶いたします。

Topics 岩村校舎のトピックス



明智校舎のトピックス

平成19年4月8日、旧明智商業高校・岩村高校の在校生と教師・教育関係者約三百六十名が出席し、明智町「かえでホール」で開校式を開催しました。引き続き午後から、明智校舎にて新入生百三十九名を迎え入学式をおこない、「岐阜県立恵那南高等学校」はスタートしました。

岩村校舎には旧岩村高校普通科の生徒の2、3年生だけとなりましたが元気に勉強を続けました。明智校舎では2、3年生は商業科・情報会計科として、一年生は総合学科としての授業が始まりました。ともに、新しい学校の一期生として「南の開拓者」の気概を持ち、はつらつとした高校生活を始めました。

新しい高校としての最大の特長は総合学科であることです。一年次には「産業社会と人間」の授業の中で、職業調べや大学見学、簿記や介護実習など専門科目の勉強、地域でのボランティア活動、ライブプランの作成等をおこないます。その授業を中心に、自己の確立と自らの将来を切り拓く力を培います。

2年進級時に「文系進学」「理系進学」「ビジネス」「情報」「福祉保育」の系列に分かれ、それぞれ

れの進路を目指します。

19年4月に起工した総合学科棟は、夏頃には以前木造校舎があったところに姿を現し、図書館、進路指導部室、ガイダンスルーム、福祉保育実習室などの施設ができあがっていきましました。

平成20年は百三十五名が入学しました。本校の評価も上がり、地元だけではなく、土岐、多治見、可児という遠隔地から通う生徒も入学するようになりました。

6月23日(月)には、3月に竣工した総合学科棟の内覧会を開催しました。岐阜県議会議員を始め、恵那市議会議員、振興事務所、教育委員会、地元小中学校、地元企業、PTA、同窓会などから四十七名の来賓をお迎えし、皆様方から温かいご声援をいただきました。

地域とともに生きる高校として恵那南高等学校は新しい一歩を歩み始めています。

インターハイ予選で活躍

弓道部・陸上部

東海大会出場

5月31日に県メモリアルセンター弓道場で行われたインターハイ県予選決勝リーグで、本校弓道

平成19年度 卒業生の進路

平成20年3月31日現在 明智校舎

1.就職先

会社名	男	女
金融		
(株)十六銀行		1
東美濃農業協同組合		1
製造		
アイカ電子(株)	1	1
明知ガイシ(株)		1
岩村三協(株)		1
恵那東海理化(株)		1
協和ダンボール(株)	1	1
近藤工業(株)	1	
敷島製パン(株)		1
ジクスト工業(株)	1	
ダイキャスト東和産業(株)	2	
中央キャ鍛工業(株)	2	
(株)ティーアイピーシー	1	
(株)デンソー	1	3
トヨタ自動車(株)	3	2
東濃INAX(株)		1
豊橋造船(株)	1	
林テレープ(株)	4	
豊生ブレーキ工業(株)	2	
堀江金属工業(株)	2	
本多金属工業(株)	1	
光明化成工業(株)	1	2
(株)メイト	1	
ヤマシンスチール(株)	1	
(株)山西		1
卸小売		
(株)恵那寿や		1
(株)サンマート	1	
ナフコ(株)トミダ		1
ナフコ(株)不二屋		2
(株)義津屋(ヨシツヤ)		1
運輸		
東海旅客鉄道(株)(JR東海)	1	1
サービス		
(株)明智ゴルフ倶楽部		1
トヨタ生活協同組合		2
眼科三宅病院		2
くつろぎの宿 然林		1
その他		
自営	1	1
計	31	28

2.進学先

学校名	男	女
四年制大学		
愛知学院大学	1	
名古屋学院大学	1	
名古屋商科大学	1	
日本福祉大学	1	
短期大学		
高山自動車短期大学	1	
中京短期大学	1	3
名古屋芸芸大学短期大学部		1
専門学校		
愛知中央美容専門学校		2
あいち福祉医療専門学校		1
大原簿記専門学校		1
大原トラベル・ホテル専門学校		1
国際医療管理専門学校		1
中和医療専門学校		2
中部美容専門学校		1
東海福祉総合専門学校		1
東京IT会計専門学校	2	
名古屋医療秘書福祉専門学校		1
名古屋コミュニケーションアート		1
名古屋法律専門学校		1
名古屋モード学園		1
名古屋リゾート&スポーツ専門学校		1
ニチイ学館		1
日本装飾美術専門学校		1
ビジネス教養専門学校エクセレンス		1
ポリテクセンター名古屋港湾荷役	1	
まつかげ看護専門学校		1
ユマニテク調理製菓専門学校		1
計	15	18

部女子は見事2位に入賞しました。前回の予選を通過した6校(恵那南・益田清風・武義・中京・津商・岐阜総合)が総当たりでリーグ戦を戦い、本校は、調子でな

いまま初戦の武義高戦を迎え、8射対10射で落としてしまいました。その後の戦いが心配されましたが、強い精神力で立て直し、益田清風には逆に10射対8射で勝利。しかし、3戦目の強豪岐阜総合には12射対16射で敗れてしまいました。この段階で1勝2敗。その後、4戦目中津商には12射



インターハイ県予選で 平子さん

対9射、5戦目中京には12射対11射で3勝2敗となり、優勝した岐阜総合学園には及ばなかったものの、準優勝の栄冠を勝ち取りました。なお、3位から6位はすべて2勝3敗の大接戦、その中で一歩抜け出した本校の力は評価に値するものです。

また、5月23・24・25日、長良川陸上競技場で行われた、インターハイ県予選で本校陸上部は大活躍。特に、3年A組佐橋涼輔君は砲丸投げで、3年C組平子千恵さんは走り幅跳びで見事東海大会

への切符を獲得しました。また、東海大会出場には届かなかったものの、3年B組土屋貴泰君が五千メートル競歩で4位入賞、その他の選手も、自己新記録を連発するなど頑張りました。

プラスバンド部 部員三倍増 悩みは楽器不足



部員の増えたプラスバンド

昨年度、8人で活動してきた吹奏楽部に、今年4月、18人の1年生が入部してくれました。大勢入部してくれたことはたいへんありがたいのですが、急に部員数が増加したものですから、楽器が不足する事態が起こってしまいました。岩村校舎にあった楽器を持ってきていますが、それでも不足しています。楽器は1本何十万円もするものが多く、簡単に買うこともできません。そこでお願いがあります。以前使っていたけれども今は使っていない、でもまだまだ使えるよ、という楽器がお家で眠っていないでしょうか。もしそういうものがありましたら、ぜひ生徒たちの活動に役立たせていただけないでしょうか。

うか。「寄付してもいい」という方がおられましたら、学校までお知らせください。特に、フルートとクラリネットが不足しています。よろしくお願ひします。

『恕の心』の育成をめざし 大正村ボランティア清掃と 「地域会」

本校の教育目標の一つに「『恕の心』の育成」があります。その「思いやりの心」「奉仕の心」を育成するために、本校では地元大正村と連携してボランティア活動を行っています。この活動は、全国的にも注目されている活動で、本校の今後のボランティア活動の核の一つとなるものです。3年生は7月2日午後、1年生は10日に各クラスグループ別に大正村各地に分かれ清掃活動をおこないました。「明智駅周辺」「かえでホール周辺」「大正村役場周辺」



大正村駐車場でゴミ拾い

「大正村ロマン館・バラ園周辺」などを約1時間半、ちょうど梅雨の合間の照りつける太陽にへトヘトになりながらも時間いっぱい頑張ってくれました。なお、2年生は秋に、同じく清掃活動をする予定です。地元可愛される恵那南高等学校を目指していきますので、よろしくお願ひします。

8月25日始業前には「地域会」を行いました。本校では前身の明智商業高校時代から10年以上、「地域会」と名付けたボランティア活動を実施しています。これは、それぞれが通学している地元を掃除することによって、日頃お世話になっている地域の人々に貢献でき、活動を通じて地元の人々との信頼関係を築こうというものです。生徒たちは午前中に地元の各場所を掃除。午後から登校して全校集会で活動内容を発表しました。

福祉・保育のプロへの一歩 2年D組が施設実習

7月10日、福祉保育・健康系列で勉強をしている2年D組の24名が5つの施設に分かれ、施設実習を行いました。生徒それぞれの進路希望に合わせて、「恵那市老人保健施設ひまわり」「山岡デイサービスセンターゆとり」の福祉2施設、「明智保育園」「吉田保育園」「中京幼稚園」の保育3施設で、朝から夕方まで、お年寄りや子どもたちのお世話をしました。

今回は1日だけの実習でしたが、生徒たちにはたいへん良い経験になったようで、「勉強になりました」の声も聞かれました。10月には3日間、3年生の6月

には5日間の実習が予定されています。本校総合学科の将来を担う福祉保育・健康系列第1期生の24名には、「南の開拓者」の意気込みで頑張ってもらいたいと思います。



「ひまわり」で食事の補助

学校祭の新名称は 「佐章翔祭」

明智商業高校では「白鷹祭」として、岩村高校では「知新祭」として親しまれてきた本校の学校祭の名称も、学校統合に伴い、新しくしようと新名称を募集しました。

明智・岩村両校舎の全校生徒および職員から応募された提案をもとに、両校舎生徒会執行部の代表を含め協議した結果、「佐章翔祭」に決定しました。本校の校章は「ささゆり（別名やまゆり）」をモチーフに、大きくはばたく翼をイメージしたデザインになっています。（三頁参照）そこで、「ささゆり」の古い言い方である「佐章」とはばたくという意味で「翔」の字を組み合わせて「佐章翔祭」としました。

硬式野球部 後援会からのお願ひ

後援会会長 藪崎 正夫

学校統合に伴い、野球部も統合し、新たに恵那南高校硬式野球部が平成19年4月発足しました。

以前より岩村高校硬式野球には後援会がありました。統合に伴い解散し、昨年1月、新たに恵那南高校硬式野球部後援会が同窓会の支援を得て発足しました。

後援会では恵那南高校野球部を応援して下さる同窓生の方、地域の方などから会費をいただき、専用バスの維持・管理をはじめ野球用具の購入、夏の選手権大会の応援などをおこなっております。

恵那南高校硬式野球部の活動にご賛同いただき、ご支援をいただける方は、下記の所へ振り込みいただくか、恵那南高校（明智校舎）までご連絡ください。

- 一. 個人会員 一口金 3,000円
- 二. 特別会員（法人等）一口金 10,000円
- 郵便振込口座 口座番号 00890141105931

名称 「岐阜県立恵那南高等学校 硬式野球部後援会」
連絡先 〒50917793 岐阜県恵那市明智町41-2 岐阜県立恵那南高等学校
(明智校舎)

電話 057315412537 (成瀬)

※同封の振込用紙は同窓会費振り込み用のものです。硬式野球部後援会の振り込みには使用できません。

恵那南高等学校同窓会役員

役職名	地区(旧同窓会)	役員氏名(卒業年、学科)
会長 1	(明智)	勝 正憲(昭和38商)
副会長 9	岩村地区 2 (岩村)	市岡 勝男(昭和35農) 鈴木 義昭(昭和39農)
	明智地区 2 (明智)	安藤 勉(昭和41商) 堀 恒夫(昭和45商)
	山岡地区 (岩村)	度会 敏彦(昭和39普)
	上矢作地区 (岩村)	荒田 雅晴(昭和44普)
	恵那地区 (明智)	松原 淑明(昭和48商)
	中津川地区 (岩村)	渡辺 和義(昭和35普)
	瑞浪地区 (明智)	伊藤 照雄(昭和43商)
会計 1	(明智)	藤田 恭一(昭和44商)
理事 14	岩村地区 (岩村)	三輪 哲司(昭和43農)
	(明智)	堀 高久(昭和44商)
	明智地区 (岩村)	安藤あや子(昭和41普)
	(明智)	三宅 武利(昭和51商)
	山岡地区 (岩村)	大庭 脩代(昭和38普)
	(明智)	佐々木淳二(昭和60商)
	上矢作地区 (岩村)	小木曾紀元(昭和38普)
	(明智)	鈴木 巧(昭和53商)
恵那地区 (岩村)	渡辺 正雄(昭和43農)	
(明智)	古里 芳伸(昭和54商)	
中津川地区 (岩村)	安藤 孝義(昭和41普)	
(明智)	吉田あけみ(昭和48事)	
瑞浪地区 (岩村)	山野井 清(平成4普)	
(明智)	中村みはる(昭和61商)	
監査 2	(岩村)	河田 清文(昭和37農)
(明智)	梅村 吾三(昭和38商)	
顧問	(明智)	橋本 義治(学校長)
(岩村)	鈴木 康博(副校長)	
相談役	(岩村)	西久保成樹 (岩村高校同窓会長)(昭和34商)
(明智)	小松 房行 (明智商業高校同窓会長)(昭和37商)	
事務局	事務局 長(明智)	奥村 直之(教諭)
事務局 (岩村)	林 尚志(教諭)	

第一回同窓会総会を開催

平成20年8月2日(土)14時半より、岩村校舎新會館において同窓会総会を開催しました。同窓会役員を中心に一般会員の参加も得て、無事に終了しました。

岩村高校同窓会から150万円、明智商業高校同窓会から200万円の財産譲渡や入会金などにより策定した今年度の予算案、来年4月に同窓会名簿を発行することを含んだ事業計画案をそれぞれ承認しました。

また、総会終了後、「烏兵」にて懇親会をおこない、新たな同窓会出発にふさわしい会となりました。

来年の総会は6月27日(土)に開催する予定になっています。出席のほどよろしくお願いいたします。



「関東支部から 会員の皆様へ」



岩村高校同窓会関東支部長
中根 昇

岩村高校と明智商業高校との同窓会統合に伴い、関東支部においても同窓会が統合となればとの思いでいっばいであり、昔は旧国鉄明知線に乗り、明智地区から岩村高校へ岩村地区から明智高校へ通学した学生も身近におり、違う町という意識はなく、恵南地区一体という思いがしております。

岩村高校同窓会関東支部は設立後約20年が経ちましたが、会員総

数は約百四十名と変わりはありません。年を経るにして、人々とのつながりが強い絆で結ばれているように感じます。関東支部総会を2年に一度開催しておりますが、これらの行事は今後も継続していく意向であります。「恵那南」という新たな校名と、新たな同窓の輪が広がり、今後は新しい思い出がますます加ってゆく事を切に期待しております。

新たに、明智商業高校の同窓会の皆さんと一緒に語り合える機会ができれば、思いがけない人に出会えることもあり、また、故郷の情報交換が増えることとなり、新しい視野が開けてくるかと思えます。

現在、同窓生の皆さんのところに、住所等を問い合わせるハガキや、協賛金、広告掲載のお願いが届いていると思います。ご不審な点があれば、記載の電話番号まで直接お問い合わせください。

ご協力をお願いいたします。

同窓会名簿を 4月に発行します



平成20年度恵那南高等学校同窓会収支予算書

(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(収入の部)		(単位:円)	
項目	20年度予算額	摘要	
繰越金	0		
人会金	650,000	5,000円*130名(平成19年度卒業生分)	
年会費	800,000	2,000円*400名	
負担金	0		
繰入金	3,500,000	明智商業同窓会200万円 岩村高校同窓会150万円	
雑収入	1,000		
合計	4,951,000		

(支出の部)		(単位:円)	
項目	20年度予算額	摘要	
管理運営費	426,000		
支部補助金	100,000	関東、中京支部各5万円	
旅費	80,000		
会議費	76,000		
消耗品費	50,000		
通信費	120,000		
会報発行費	2,500,000	㈱サラト200万円	
生徒報奨金	300,000	母校の振興補助	
慶弔費	50,000		
予備費	1,249,000		
合計	4,951,000		

予備費の流用については会長の専決による